

村長の日記

9月1日（土）

朝

夏掛けを掛けても非常に寒かった。暑い夏だったが、9月に入った途端、急に秋らしくなった。気温の低下が急だったので、布団の用意が無かった。また何日かすると暑い日がある。夏掛けから少し暖かめの布団に変えた方が、寝冷えしなくてよい。暑さがぶり返した時は、このままの方がいいのだが。

昨日の処分について職員の反応はと思ったが、全員粛々と仕事をしている。

お金についていろいろ考えた。自分で起業して生活している人、サラリーマン、公務員、お金に対する考え方が違う。私の経験してきた零細企業では、毎日がお金との運動会。絶対に負けたらあかん、負けた時点で企業は倒産する。1番大事な仕事は資金繰り。私は何十年か、負ける事の出来ないお金との運動会を続けてきた。

村長に就任した年の暮れ、越年資金を会計の女性がウン億円調達してきた話を聞いて、行政は資金的に楽な組織だと思った事がある。

9月5日（火）

9月に入り、肌寒い秋となったようだ。今年は暑かったが雨が少なく、実りの良い秋が期待できる。

今日は9月議会の初日、新人議員の皆さんには2回目の定例議会となった。村は庁舎建設、道の駅、幼稚園問題、森屋北部開発、過疎からの脱却、人口減、高齢化対策、道路アクセスの抜本的改良、多くの問題を財政状況を見ながら大急ぎで解決する必要に迫られています。新聞でご承知の通り、村では起こってはならない不祥事があり、理事者、職員一同 原点に戻りすべてを見直し、一から出直す気持ちで、二度と不祥事を起こさない村造りに取り組みます。

住民から期待され、信頼される村を作り上げるように議員皆さんの協力をお願いし、開会となった。

議案 58号 表彰条例改正～議案 65号 消防団条例改正	総務民政常任委員会付託
議案 66号 平成 29年度一般会計補正予算	総務民政・文教建設常任委員会付託
議案 67号 国民健康保険特別会計補正予算～議案 68号	総務民政常任委員会付託
議案 69号 下水道特別会計補正予算	文教建設常任委員会付託

村長の日記

* 報告

平成 28 年度財政健全化判断比率

	千早赤阪村	早期健全化基準 (総務省)	財政再生基準 (総務省)
実質赤字比率	0.0	15.0	20.0
連結赤字比率	0.0	20.0	30.0
実質公債費比率	10.2	25.0	35.0
将来負担比率	0.0	350.0	

(赤字が無いので正常)

平成 28 年度資金不足比率

	千早赤阪村	経営健全化基準 (総務省)
水道事業会計	0.0	20.0
下水道事業特別会計	0.0	20.0
金剛山観光特別会計	0.0	20.0

(事業会計も資金不足なし)

議案第 70 号 平成 28 年度一般会計歳入歳出決算認定～議案第 76 号 水道事業会計決算認定 決算認定は決算特別委員会に付託
決算特別委員会委員長：山形議員、副委員長：田中議員と決まり、初日は終了。

村長の日記

9月6日(水)

決算特別委員会での平成28年度決算認定審議

一般会計 歳入 33億 5290万円、歳出 32億 1850万円、差引 1億 3440万円

*主な歳入

村税	5億 2810万円
地方譲与税	1980万円
地方消費税	9750万円
ゴルフ場利用税	2360万円
自動車取得税	790万円
地方交付税	13億 9690万円

国支出金	2億 2620万円
府支出金	2億 1230万円
寄付金	2億 3390万円
繰越金	1億 3550万円
諸収入	6210万円
村債	3億 2550万円 他

*主な歳出

議会費	6600万円
総務費	9億 1550万円
民生費	7億 4940万円
衛生費	2億 1610万円
農林水産業費	5890万円
商工費	5940万円

土木費	2億 7430万円
消防費	1億 5180万円
教育費	3億 350万円
公債費	3億 8260万円
災害復旧費	520万円 他

*国民健康保険特別会計

歳入 10億 7530万円	歳出 10億 4380万円	差引 3150万円	被保険者 1861人	1人当たり歳出 56,892円
---------------	---------------	-----------	------------	-----------------

*介護保険特別会計

歳入 6億 7080万円	歳出 6億 4500万円	差引 2580万円	被保険者 2330人	1人当たり歳出 276,859円
--------------	--------------	-----------	------------	------------------

*後期高齢者医療特別会計

歳入 9750万円	歳出 9720万円	差引 30万円	被保険者 1033人	1人当たり歳出 94,054円
-----------	-----------	---------	------------	-----------------

村長の日記

* 下水道事業特別会計

歳入 2億 2760万円 歳出 2億 2760万円

* 金剛山観光事業特別会計

歳入 8540万円 歳出 8150万円

ロープウェイ売上 6450万円

香南総売り上げ 3490万円

以上各会計は22日本会議で認定することになった。

9月7日（木）

森林環境税の説明が林野庁よりあった。

森林環境税は、所有森林に無関心な所有者へ市町村が主体となって、森林整備に取り組む必要な財源に充てる目的。

- ・ CO²吸収源対策、水の供給、山地崩壊の防止等の為、適切な森林整備、保全が必要。
- ・ 民有林整備が急がれる中で1番の問題は、森林経営に無関心な所有者の存在。加えて所有者不明 境界不明で、境界確定と所有者確定に多くの時間と労力が必要。森林組合等の取り組みにも限界があり、市町村段階で行政の役割強化が必要、しかし林業行政を行う職員体制が弱く支援体制の整備が必要になる。特に林業の担い手が不足しており、その対策が急務。

新たな林業整備の方向として、行政主体の仕組みを考える必要がある。現行の施策で放置されている森林は、市町村が主体となり整理管理する取り組みが必要。

* 新たな森林整備の方向性「公的な整備」

自然的、社会的条件が不利であり、現状で放置されている森林を市町村が主体となって新たに整備、管理する取り組みを推進。

市町村主体の森林整備により、地元の林業者などの担い手が継続的、安定的に間伐等の作業を実施することにより、地域の雇用安定につながる。

村長の日記

*村主体の森林整備

- ・山林所有者への働きかけ
(間伐補助などにより山林整備の働きかけ)
- ・間伐等の市町村実施
- ・間伐後の立木伐採で所有者の権利行使の制限協定の制度化。
- ・寄付による公有林化を進め適正管理。

林野庁は、既に林業は業でなくなっていることを認めた。したがって公費(環境税)を使った山の管理を推進する。山は農業と違い、収穫に長い期間が必要。現在ヘリコプター集材で採算に乗るのは150年生以上の桧材。杉材では集材費が出る程度だ。

林野庁の幹部との懇親会で、イノシシ、シカの野生動物駆除の話になった。今全国で大問題になっているが、有効な解決策が無い。

現在は、檻、罠で獲っても猟期以外、銃で処理できない、槍では困難。決定的な有害鳥獣数量削減方法をお願いする。ホルモン剤で5~10年動物の少子化を考えてもいい時期に来たと思うのだが。

9月10日(日)

9:00

堺市長選 出発式

竹山市長3期目の選挙。大きな選挙事務所だが、出発式は前の道路。かなり広い道路で交通量も多い。来賓、後援者が道路の両サイドに集まって始まる。

初めに関西広域連合長、兵庫県知事、(神戸市長と同道)の激励から始まった。「兵庫の新温泉町は神戸から2時間半は掛かる。ここ堺市は30分、広域連合の発展は堺の発展から」続いて自民党大阪府連 中山会長、大阪府市長会会長、民進党代表、連合会長、竹山市長の決意表明で出発していった。

選挙事務所は非常に広く大きな建物。80万人政令指定都市の選挙は大変だ。

9月12日(火)

7:00

朝7時自宅出発、新大阪へ。9時30分の“こだま”で小倉へ出発。新大阪へは1時間程度で着くはずだが、松原線は朝の渋滞がひどいの

村長の日記

で1時間余裕を取って7時前に出発した。

松原線の心配をしていたが、羽曳野インターへ行く170号線の混雑がひどい。裏道をたどるがすべて混雑している。高速に乗れたのが8時10分頃。松原料金所の2キロほど手前から停滞、サインでは環状線まで40分。毎朝の停滞とは言いながら時間がもったいない、莫大な費用を消費している。

9時15分頃、やっと新大阪着。9時30分新大阪発、小倉着11時40分。小倉駅で昼食を食べたのだが、大阪では考えられないほど安い。1400円の大エビ定食をオーダー。飯、漬物、しじみ汁、天つゆが出て、すぐ大エビ1匹、烏賊、野菜のてんぷらが出てきた。半分ほど食べたところでまた大エビ、キス、野菜のてんぷらが出てきた。てんぷらは1皿で十分な量、大阪の常識でてんぷらが1皿と思っていたが、すごく儲けた感じ。

13:00

ナフコ本社訪問

社長と面談、「1日も早い出店」をお願いし、14時30分発の“さくら”で帰阪。新幹線の充実で仕事の能率は上がった。東京、福岡は日帰りの出張圏内となった。時間は短くなったが、移動距離は1000キロ超。飛行機を使えば札幌でも、那覇でも、1日出張は可能。2000キロを超える1日出張は行ったことは無いが、移動距離が2000キロを超えるとしんどいと思う。安部総理は国内で1日の移動距離2000キロ越えは当たり前、ヨーロッパから帰国してすぐ仕事となると、移動距離1万キロ越え。政治家の必須条件は体力だ。

9月13日（水）

文教建設常任委員会

- ・ 一般会計補正予算8240万円を補正して、歳入歳出それぞれ32億8740万円とする。
一般会計のうち文教建設常任委員会分を補正。
 - ・ 下水道事業特別会計予算 補正歳入歳出それぞれ20万円を追加して、歳入歳出それぞれ2億4250万円とする。
- 以上2議案を可決、委員会は終わり。

村長の日記

9月14日（木）

村は、11月に“棚田夢灯り2017“、棚田夢灯り10回目のイベントを行う。10回目に当たり考えていたところ、全国町村長会の機関誌「町村週報」記事が目についた。

イベントは資金・資材・マンパワーなどを注入(インプット)して実施する。結果は来場者数(アウトプット)で表される。

イベントの成果(アウトカム)、実行者の得る知識、経験、達成感の和。外的には来場者の満足、地域の知名度とイメージアップ、来場者の消費による経済効果である。

イベントは地域に新しい文化の風を起こす試みであり、文化が無ければ地域はやがて滅びる。伝統行事でも、常に新しい気持ちが入らないと廃れる。イベントは、地域の新しい文化の風を吹き込む人が集まる機会であり、力を持続的に地域おこしに使うべきだ。また、来場者が単なるお客様ではなく、主催者と共鳴して活動を担うサポーターになってくれる仕組みを作ることが大切だ。

人を引き付ける魅力を持つためには、活動によってどんな地域にしたいかという、明確な共感を得ることが出来る意義を明示する。それが理解され、活動することが誇りとなり、多くの人に参加したい状況を作り出すことを考えておくべきだ。

更にイベントの実施で収益を上げ、新たな取り組みの資金にする達成の仕組みを作ることを前提とすべきだ。

イベントの効果を定常的な地域おこしに生かす経営センスを、常に持とう。

9月15日（金）

10月号、村広報の原稿を書いた。広報は400字程度に抑えるのもっと推敲するが、原文は以下の通り。

千早赤阪村の山作り

樹木は枝と枝が触れ合うと、根を伸ばして邪魔な木の成長を止めようとする。間伐を十分にして樹間を開けてやると、安心して根を深く伸ばし大きく成長する。

千早赤阪村は、千早村、赤阪村が合併する以前から、林業は両村の重要な産業であった。戦後復興の木材需要急増により、昭和20年頃から木材価格はバブル状態になっていた。戦後からほぼ50年、山持ちは金持ち。生活費はもちろん、子供の分家、娘の結婚、山の木を少し売るだけで賄えた。数少ない例外を除いて、山主は山林経営100年の計をおろそかにしていた。村は面積の80%が森林である。ほとんどが杉、檜の植林山だ。平成8年頃から材木価格が暴落した。現在では平成元年頃の価格に比較して、杉は10分の1、檜にしてもほぼ7

村長の日記

分の1、原木(丸太)の値下がり、木材を販売して生活を維持していた山主にとって、生活に大きな影響を与えた。

材木を伐採し木材市場までの搬出コストは、山の状況により変化するが、平均1立米12,000~15,000円程度。市場の売買価格は杉が10,000円、檜が20,000円程度。村の山林はほぼ70%が杉、30%が檜、したがって市場での価格は1立米13,000円、立木の価格は0となる。

今全国的に森林所有者は山林経営に興味を失い、放棄森林、所有者不明の森林が大量に発生している。間伐をしない森林は木の成長が止まり、CO₂吸収源としての役割もできず、山崩れの原因を作っている。林野庁は平成30年から森林環境税を創設し、公費で個人所有の山林管理に乗り出す市町村を本気で支援する。村内3,000ヘクタールの山林は、20年間伐、枝打ちなどの管理がほとんど行われず、既に手遅れに近い状態の山が多い。

昔は、細くて長くて頂上近くまで枝の落ちた杉の木は、鯉のぼりの棹として非常に高く売れたが、現在では20mもある杉の木を庭に建てられる家なくなった。自然落枝で頂上近くまで枝の落ちた木は受光面積が少なく、成長が遅くなる。結果CO₂の吸収量も少ない。1日も早く村内森林のダイナミックな間伐を実行し、林野庁の支援を受け、平成80年~平成130年には、杉、檜の大径木しかない千早赤阪村を作ろう。

9月17日(日)

2~3日前から、台風15号が日本列島北上のニュースばかりだった。

朝起きてみると、はたして台風が来るのか不明の良い天気、時々晴れ間が見える。「河内は天災が少なくて良い所」と話していたところ、台風が鹿児島県上陸。村は雨もなく、風も無し。台風は山口県あたりで日本海へ抜けると私なりに予想してのんびりしていたところ、昼前大阪府全域暴風雨警報。だが村は何もなし。

15:00

近隣市町で避難所を開設の動き在り。現在風もない、雨も降らないときに避難所が必要かと思いつきながら役所へ。防災関係全員が揃い、避難所開設の準備中。

まだ早いと思つたが、「防災は空振りでもいいから早く」が行動の常識、避難所を開設。千早小吹台小学校、B&G体育館、くすのきホール。時間は経過し、21時頃 台風は明石近くに上陸。時速55Kmで、北東に徐々に速度を上げてながら進んでいる。村の状況は、少し風が強

村長の日記

くなった、雨も少し降った。消防団へは出動要請するほどの嵐ではないので要請せず。

18日午前1時32分、警報解除。何もないのは良い事だ。2時過ぎ、くすのきホールの避難所(避難住民あり)を残し、避難所を閉鎖。防災担当職員を残し帰宅。夜中の1杯はうまかった。

9月19日(火)

岬町長選挙 出発式

7:30

役所出発、岬町へ。田代町長3期目の選挙。出発式10分前、田代氏自宅選挙事務所到着、タスキをつけた田代氏の出迎えを受ける。

「千早神社の落ちないおさがりを今朝ごはんに入れて頂いたおかげで、当選できそうだ」「間違いなく当選ですよ」

9時丁度に出発式開始、後援会長の挨拶。「多分今日1日で終わる。田代町長ほどきっちり町長らしい仕事をした町長はいない」

岬町議会議長もほぼ同じ内容の挨拶。今回の田代町長はまさに我々町村長の見本。国より副町長を迎え、第2阪和の開通、深日→洲本の実験航路開設、道の駅開店、非常に大きな成果を上げた。ぜひ3期目、4期目の当選を果たし、大阪の南の端から大阪を良くしてほしい。

来月22日に選挙を控えている衆議院議員の先生方は、特に挨拶に熱がこもっており、出発式は1時間少しかかって終わり、町長は選挙カーで町へ。

すぐ役所へ折り返し重要政策会議、幼稚園問題を協議。

平成30年の予算編成には従来通りの予算ではなく、スクラップ&ビルドを推し進め、過疎からの脱却に有効な事業を中心とした予算編成をお願いした。

田代町長3期目の祝勝会

15:30

役所出発、岬町へ。田代町長3期目の祝勝会。

情報では対抗馬無し。選挙カーが丁度帰ってくる時に事務所に着いた。PM5時、対立候補なし、無投票当選。10月22日衆議院選挙が現実となって、代議士先生揃い踏み。田代町長おめでとう。挨拶を指名されて、泉州に対する私の疑問を話した。今大阪でクルーズ船の話はない。インバウンドは関空だけではない、海のある市、町は手を上げてクルーズ船を迎えるべきだ。

村長の日記

9月22日（金）

議会最終日

10時開会

議案第58号～議案第69号 は、総務民政常任委員会、文教建設常任委員会、両委員長報告通り議決。

議案第70号 平成28年度一般会計歳入歳出決算認定～議案第76号 平成28年度水道事業会計決算認定 の7議案は、決算特別委員会委員長報告通り認定した。

議案第77号 平成29年度一般会計補正予算、歳入歳出それぞれ140万円追加、予算総額32億8880万円とする。

議案第78号 動産の取得、消防団用軽四輪駆動消防車2台。取得金額890万円。

議案第78号 村過疎地域自立促進計画変更。平成29年度事業実施に伴い事業の追加、事業費の増減があり、過疎地域自立促進計画法の規定により議決。

一般質問

・ 関口議員

* 国保の都道府県化に伴う村国保運営について

来年4月からの都道府県化にあたり、その準備が急ピッチで進められている。保険料率の府内統一化計算では現行保険料より下がる自治体は6市町のみと言われている。この時点で本村のみが引き上げを決定して住民負担を増やしている。①8月に予定されていた府の2回目の試算は出ているのか伺う。②その結果、村の保険料はどうなるのか。③基金を活用し、国保料を引き下げる努力をすべきだ。④国保に対し保険料率の一律化をやめペナルティーを科さないよう求めるべきだ。

* 小吹台入口の作業現場について

昨年8月に問題が起きてから1年以上が経過した。地元では自治会を中心に対策委員会を立ち上げ、解決に向け協議が続けられている。問題解決には長く時間がかかる。大阪府はじめ、富田林市、村の協力と厳しい指導が不可欠だ。村としては、地元の要請に応え、引き続き関係機関と連携し、その都度厳しく指導し違反行為があれば行政措置を取っていただきたい。また、問題解決のため、用途変更で他の目的で活用する方法がないのか検討していただきたい。

* 就学援助制度の拡充を

村長の日記

子どもの貧困が拡大される中、その対策が行われている。村の平均年収ランキングは府下 43 市町村中、41 番目に低い自治体となっている。就学援助受給者は年々増加傾向だ。子どもの教育を保障するために就援制度の拡充が求められている。入学準備金について前倒しして 2～3 月に支給するよう求める。

・ 藤浦議員

* 国道 309 号を中心とした本村の交通安全対策について

一般国道 309 号バイパス整備について、2 期区間（仮称）石塚交差点から（仮称）金山交差点に至る延長 0.7km については、本年度末に供用が開始されると聞きました。一般国道 309 号は、大阪市内から南河内地域及び奈良県南部地域を結ぶ幹線道路であることから、本年度末の供用開始により、河南町域の交通の安全等は確保されることと察しますが、（仮称）金山交差点から本村に入ると幅員が狭小で急カーブが存在する大阪府道 27 号「柏原駒ヶ谷千早赤阪線」・音滝橋からは現行の国道 309 号を通行することとなります。供用開始に伴い、交通量の増加が予測される場所であり、とりわけ大型車の通行台数の増加による交通の安全が懸念されます。川野辺地区・水分地区の住民の皆さんからも、「不安を感じている。」特に高齢者等の交通弱者への危険の増大に「非常に不安を感じている」との声を聞きます。また、場所は違いますが、神山南交差点から西楽寺前に至る区間に関しても、同様に危険を感じているとの声を聞いています。こうした中で、国・府への要望はされていることとは承知しますが、本村として国道 309 号を中心とした交通安全対策について、どのような考えをされているのか、お伺いします。また、一般国道 309 号の第 3 期工事の着工時期及び今後の対応について、お伺いいたします。

* 本村の防犯対策について

日本は、世界の中で治安が一番と言われています。こうした中で、村民の皆さんが安心して暮らせるよう、外灯(防犯灯)の LED 化や防犯カメラの設置を行い、安心・安全な村づくりを目指して、本村行政として努力しておられますが、更に、日本の中で「治安が一番の村」と言われるような本村になれば、まさに「住みよい安心・安全」の村づくりにつながると考えます。そこで、本村の現在の防犯対策、以下 3 点について、お伺いします。①千早赤阪村防犯（監視）カメラは既に 3 箇所、また本年度において新たに 3 箇所設置する旨の説明を受けていますが、今後も計画的に増設していくのか。②青パト（子ども安全見守り隊）運用の現状について。③9 月号広報紙に掲載された「村立中学校」の門扉等の不審者対策及びセキュリティ対策について。

村長の日記

・ 千福議員

* 村の観光施策について

村には、「金剛山」・「楠公さん」・「棚田」など様々な観光資源があり、観光事業は重要な産業であると考えております。この素晴らしい財産をどのように村の活性化に結び付けるのか、また、村の収入に結び付けるのか重要であります。そこで村として、観光分野への投資に見合うだけの経済効果が上がっているのか？あるいは上がっていないのか？担当課長として、感想でもいいのでどのように思っているのかを伺います。

* 決算における不用額について

村の場合、高齢者率が大阪府下でも非常に高く、今後、財政状況が厳しくなることが予想されます。そうした中で、毎年、予算を組むにあたっては、貴重な税金を、いかに有効な施策に、そして効果的に配分するかが重要です。私も長年、民間企業で働いてきましたが、民間も役所も同じで不用額が極端に多くなることは、資金運用や効果的な予算配分を行うという点では好ましくないと考えます。来年度の予算を作るにあたっては、今回の決算をどのように反映していくのか、伺います。

・ 井上議員

* 防災対策について

政府の中央防災会議の報告によると、現在の知見では「地震予知は困難」とされ南海トラフ巨大地震に関し、予知を前提とした法に基づく防災対策を「改める必要がある」と指摘した。そこで防災対策について見直すべきと考える。現在、指定避難所として指定されている施設について十分な備えが出来ているのか、伺う。①自家発電設備はあるのか。(非常用電源) ②防災備蓄倉庫の現状(量、保守点検) ③防災行政無線は「聞き取りにくい」「何を言っているかわからない」等の意見が多く、課題の1つと思われるが現状と対策は？

* 難病見舞金について

国では難病を患っている患者家族の負担軽減に取り組んでいる。しかし患者は病状により、入退院を繰り返すなど日々の生活の負担は厳しく、毎年提出しないといけない診断書を取りに行くのも費用がかかるので躊躇する方もおられるのが現状である。そんな患者のサポート体制の1つとして地方自治体から見舞金として支給しているところもある。そこで難病見舞金について、村としての見解を伺う。

村長の日記

- ・ 田村議員

- * 道の駅に地域経済の中核としての役割を

道の駅には当初、一般道における休憩所としての機能が求められていた。しかし現在ではその枠組みをはるかに越えて、地域経済において、大きな役割を果たしている道の駅も多い。特に中山間地域では農産物や加工品、地域の特色を活かしたレストランなどの併設によって、まさに地域経済の中核として機能している。道の駅が地域経済において果たす役割は拡大し続けているのだが、わが村の道の駅「ちはやあかさか」は規模も小さく、地域経済の中核としての役割を果たせているとは言い難い状況にある。行政として道の駅の現状をどのように捉えているにか、また現状を打破するためにどのような施策を検討しているのか伺う。

- * 緑の砂防ゾーンくろとがを有効利用するために

村内にはちびっこ広場などの小規模な公園はあるものの、お弁当をもってピクニックを楽しめるような一定の規模を有する公園はなく、特に子育て世代からそのような公園の要望をいただくことが多い。しかしながら大規模な公園整備は現在の村財政を考えると実現性に乏しく、数年内の着工は困難と言わざるをえない。そこで金剛登山口バス停付近に設置された親水ゾーンであるが、現在は整備が行き届いているとは言い難い状況にあり、訪れる人も稀である。当該地の整備を今どのように行っているのか伺う。

- ・ 山形議員

- * 遊休農地の利活用について

農家の高齢化や後継者不足などにより遊休農地が増加している。これまでコスモスなど景観作物の栽培といった対策もあったが根本的な問題解決には至っていない。こうした中で村では今後遊休農地の利活用についてどのような施策を考えているのか、お伺いします。

- * 海外派遣事業の見直しについて

村の教育的な事業として実施されている海外派遣事業は、村の子ども達が外国に行き、そこで生活し現地の学校に通い、自分たちの英語力を伸ばしながら国際感覚を養い、世界で活躍するための力を身につける事業であると理解している。今年も8月に第4回目が実施されたが、事業効果や問題点等を整理して見直しの時期にきていると思うが、教育課の考えをお伺いします。

一版質問の答弁は議会広報の通り。

村長の日記

九月議会最終挨拶

皆様のご協力により28年度決算を認定いただきました。

村は今庁舎建設に向け、いろいろな問題解決に取り組んでいる。ただ村が当面している問題は庁舎だけではありません。幼稚園、小学校問題、道の駅、各種施設のリニューアル、いきいきサロン、道の駅、ビジターセンター、小吹台古物商施設、千早地区の悪臭、色々ありますが、1番の問題は過疎からの脱却です。

解決すべき行政上の諸問題が山積しており、その解決に向けた皆様のご指摘、ご提案はもちろん私たちは全力で解決いたしますが、将来に向けた村の問題の第1は過疎からの脱却です。

目標は人口1000人プラス(6500人)、税収アップ3億円です。ぜひ皆さんのすばらしい提案を頂き、村発展の礎といたします。

季節も秋らしくなり、読書の秋、行楽の秋、これからいいシーズンと思っていたところ、ロケットマンのICBMが日本上空を飛び越えました。来週の木曜日28日には衆議院解散、10月22日には村の祭りと共に衆議院議員選挙の投票日です。出来れば29日か15日にしてほしいものです。

何かと忙しい10月になるとと思いますが、季節の変わり目、元気に乗り切ってくださいように祈念して、議会最終日の挨拶といたします。

9月23日(土)

岸和田市長、御母堂の葬儀式

式場に着くと河南町長、岬町長は既に着席している。

葬儀開始、焼香が始まる。町内会の重鎮から、町内会会長、30人会、消防団、青年団各種団体の焼香がつづく。岸和田は、昔からのコミュニティがしっかり継続されているのが理解できる。

岸和田だんじり祭りに招待されて、何回か見に行った。町内のコミュニティがきっちり出来てないとこの祭りは出来ないと思っていたが、今回市長の御母堂の葬儀に参列して、いかに岸和田の町のコミュニティが充実しているかが理解できた。古い日本の良き伝統が現在も生きている岸和田はすごい。

岸和田ではだんじり祭りになると、岸和田を出て行った若い人たちも大人の人達も必ず帰ってくる。私の長男は「岸和田の連中はだんじり

村長の日記

祭りになると必ず帰りよる」弟は「勤め人も会社を休んで必ず帰って来る」岸和田の街はコミュニティが確立していることが確認できた。

9月24日（日）

夕方

豪栄道が日馬富士に敗れて、今場所の優勝は日馬富士となった。大阪出身の力士、豪栄道の再起を願う。

19:00

役所出発、堺市へ。8時前に竹山事務所へ着くと、河南、岬、忠岡、田尻、各町長が既に着席。岸和田、貝塚、泉南、阪南、泉佐野、高石の市長が揃い踏み。8時のNHK当確発表を待った。

8時、NHKの大河ドラマが始まったが、なかなか当確が出ない。5~6分経過したところ「竹山優勢」で大きな拍手が起こる。

待つこと1時間30分、21時30分に「竹山当確」全員万歳となった。

竹山市長は「大阪府、大阪市と手を携えて大阪発展に尽くす」。ぜひすべての面で遅れている大和川以南、南河内、泉州に活力注入を。

9月27日（水）

老人クラブ旅行

5:13

焼津着。松風館へ千早赤阪老人クラブ健康福祉大会の宿舎へ。明日の国会解散の影響で遅れた。松風館に近づくと、遥か山の上にてかいホテルが見える。静岡県は平地ばかりと思っていたが、焼津の海岸は海まで山が迫っている。山の頂上近くに着くとでかい建物、本日の宿。大きさに圧倒された。

社会福祉協議会 会長、議長がいる部屋に入り、すぐ風呂へ。やはり風呂は良い、温泉に入ると疲れが取れる。宴会は6時30分より、今日の健康福祉大会は世界遺産 富士山と美保の松原、美保の松原ウォーキング3キロ。残念ながら富士山が見えなかった、明日は見えるか？富士山の見える次の機会を社協にお願いしたい。

宴会に入ると、皆さんなかなか元気が良い。千早赤阪からは400キロ離れた焼津だが、ビール、酒、ウーロン茶、皆さんそれぞれの飲み物で元気にマグロをつついていて。カラオケタイムになると、日頃ののどを聞かせてくれる。やはり年齢のせい日本酒が多い。若い人た

村長の日記

ちは焼酎、ワイン、ハイボールとバラエティに富んでいるが、今日は酒。
皆さんと楽しいひと時を過ごした。

9月28日（木）

老人会の皆さんと別れて東京へ。今日は衆議院解散の日、議員会館の周囲は人人人で埋まっている。共産党、社民党、各政党の宣伝カーが最大の音量で演説中。いつもは静かな議員会館前だが、今日はまさに騒音の坩堝だ。宣伝カーだけではなくスピーカーがいたる所にセットされており、賑やかな事この上ない。しかし、同時に演説されると声が大きく、何を訴えているのか解らない。福島みずほさんが話している、志位委員長が話しているが、内容は騒音としか判別できない。時間を分けて話せばいいと思うが、時が時だけにそんな余裕が無いのだろう。国会は12時開会。解散で12時3分散会となり、衆議院議員はただの人になった。10月22日まで約1カ月弱、何人が議員会館へ返ってくるのだろうか。立候補を取りやめる人もいる。新たに代議士を目指す人もいる。自公の議席が減るか、増えるか。民進党は、小池さんの党は。小池さんが総理になれるか、少なくとも国会議員でないと総理にはなれないのだが。話題は沢山あるが、築地移転で決断できない人が国のリーダーになれるのか。小池さん自身が衆議院選には出ないと言っているし、少し心配だ。議員会館、町村会館、医療関係、を回って16時の新幹線に乗ることが出来た。大阪止め、安心して眠れる。18時30分新大阪着。うまく行けば今朝焼津で分かれた老人クラブの皆さんより早く帰れるかもしれない。20時少し前家に着いた。10分ほどたったところへ西野会長から電話「今帰った」。やはり新幹線は早い。

9月30日（土）

朝のTVで驚いた。民進党が小池新党と合併、寄り合い所帯の民進党がやはり寄り合い所帯の小池新党と合同、訳が分からなくなった。選挙公示までの10日間で何がどうなるのか私では解らない。TVの情報では、超合理主義、民主党の前党首岡田さんが蓄財した150億円の政党資金がどうなるのか。これからTV、新聞の報道を注意して情報を仕入れるだけだ。夕方の報道によれば、民進党の全員が小池新党へ移れない報道もある。来月22日投票日の結果がどう出るか、私には予想すらできない。